

中小野中新聞

7年生だより

7年生は『仲間づくり』という学年目標を掲げ、5月末にはレクリエーション活動を行いました。

一日目。当初は小野アルプスハイキングを予定していましたが、雨のため学校での活動になりました。急な変更にもかかわらず、時間・マナー・ルールを守って、「都道府県クイズ」「ゾンビゲーム」「じゃんけん列車」「ドッジボール」「百人一首&坊主めくり」のすべてに全力で挑みました。そして、二日目の「大縄大会」「校歌大会」では、クラスで作戦を立てたり練習したりしたことをみんなで協力してやり抜きました。また、「いろいろリレー」「クイズ大会」では、友だちや先生の新たな一面を発見することができ、大いに盛り上がりました。さらに二週間後、報道部を中心におこなった「川柳」と「写真」での振り返り集会では、楽しさをもう一度味わいながら、多くの生徒が自由に意見を発表しました。このレクリエーションを通して、自分の役割に責任を持って取り組むこと、時間を守ること、仲間と協力すること、自分の思いを伝えることの大切さを学びました。『みんなと協力すればこんなに楽しいことができるんだ』と発表してくれた人がいたように、仲間と目標に向かって、互いに高め合う雰囲気の中で活動できたことは大きな喜びであり、大きな成長でもありました。この学びを今後の活動に活かして欲しいです。

一学期も残りわずかとなりました。これまでに以上学習・部活動・生徒会活動に全力を注ぎ、よい締めくくりをしましょう。そして「何事も本気で挑む7年生」を合言葉に、今年の夏よりも「熱く」取り組んでいきましょう。



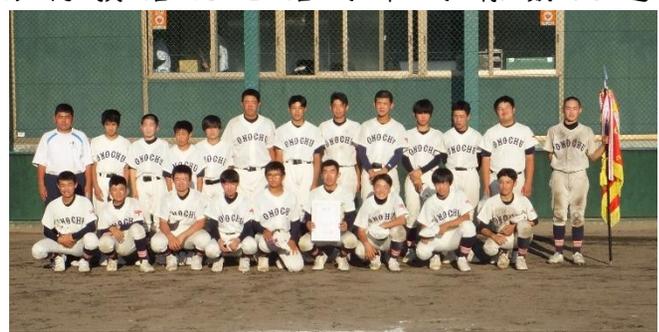
8年生だより

一学期も終わりが近づいてきました。5月末のトライやる・ウィークでは、一人一人が仕事をする責任を感じながら、普段の学校生活ではなかなか見る事の出来ない立派な姿を見せてくれました。70か所の事業所に参加し、多くの指導ボランティアの方々からほめていただき、本当に実りのある一週間になったと感じています。修了式でも話しましたが、この経験を今後の生活にどのように生かしていくかが、本当のトライやるの成果になります。これからの8年生の成長に大きく期待しています。また、8年生にとってこれから大きな転換期があります。この夏休みではほとんどの部活動で9年生が引退し、新チームのスタートになります。いままでは先輩の後ろをついていくだけでよかったのですが、これからは自分たちが先頭に立ってチーム(部)を引っ張り、盛り上げていかないとけません。全員が自覚をもってチームで協力して新人戦に向けて力を蓄えてほしいです。部活動だけでなく、二学期の末には生徒会活動を引き継ぐ時期が待っています。学校全体をリードしていく立場になっていきます。この転換期での成長を楽しみにしています。そのためにもこの夏休みに大きく成長して新学期を迎えられるよう頑張りましょう。



9年生だより

市内総体が予定通り開催され、今年は入場制限もなく、数多くの保護者の皆様の応援の中、各会場で熱戦が繰り広げられました。結果は様々ですが、これまでの部活動で取り組んだことは大きな経験となったことと思います。部活動を通して「競技力・専門性・体力の向上」。仲間や異学年の先輩・後輩、また、他校との交流の中で得た、友情・礼儀などの「社会性」。そして、自分と向き合い、自身を高めてきた「主体性」。他にも一人一人にたずねればたくさんの答えが返ってくると思います。そのどれもが、これからの学校生活、卒業後の皆さんを支える大きな力になっていきます。これからは自分を成長させてくれたチーム・部活動のOB・OGとしていつまでもサポーターとして支えていく欲しいと思います。今回は怪我などで表舞台に立てなかった人、控えメンバーとして活躍の場が少なかった人もいます。これからの人生の中で必ず、自分が大きな期待や責任を背負って任せられる舞台がやってきます。そのとき、自分が支える側に回った経験や苦しい思いをしたことが自分の強さになってかえってきます。また、自分を支えてくれる人の存在に気付き、素直に感謝の気持ちを表せる人になっていきます。部活動で経験したこと、自信を持って何事にも挑戦して欲しいと思います。東播大会、県大会とさらに上位の大



会へ出場権を得た人は小野市の代表として一層の努力をして、納得のいく結果をその手に掴んでください。

一学期も残り三週間、二十一日からは夏休みになります。これまでは、クラス・部活動で力を合わせて部活や勉強をがんばってきました。しかし、一人になってがんばらなければならない時もあります。しかし、一人ぼっちではありません。誰もが一人になる勇氣を持ってがんばっています。9年生の誰もががんばっています。この二年間の夏休みとは過ごし方が大きく変わるとは思いますが、進路の実現に向けて学習を進めていきましょう。



7・8・9月の行事予定

□東播総体	7月15日～17日
□1学期終業式	7月20日
□三者懇談	7月21日～28日
□生徒家庭の日	7月29日～31日
□登校日	8月9日
□学校閉庁	8月11日～15日
□2学期始業式	8月29日
□体育祭	9月9日

○「ながらスマホ」していませんか？

東北大学加齢医学研究所は、「スマホが子どもの勉強や学力にどのような影響を及ぼすのか」を研究されており、興味深い調査結果を発表されましたので紹介します。



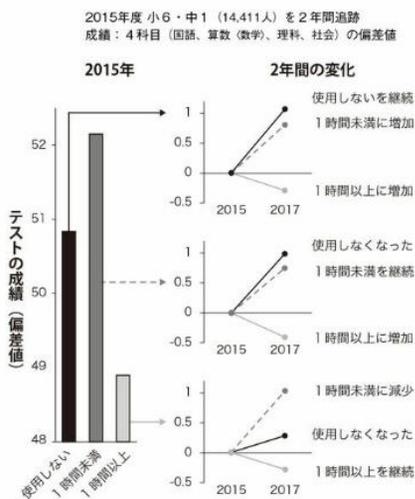
■スマホの使用時間が

1時間以上になると成績が下がる

スマホ等を「使用していなかった」子どもたち（黒色の実線）、スマホ等を使うようにはなったものの「1時間未満」とどめることができていた子どもたち（濃い灰色の破線）の成績は伸びていました。一方で、スマホ等の使用時間が「1時間以上」になった子どもたち（薄い灰色の実線）の成績は下がっていました。

2年後の時点でスマホ等を「使用しなくなった」（黒色の実線）と、そのまま「1時間未満」（濃い灰色の破線）の子どもの成績は上昇していましたが、一方で、「1時間以上」に使用時間が延びてしまった子どもたち（薄い灰色の実線）の成績は低下していました。

図表1 スマホ等の使用時間の変化と学力の関係



■スマホの使用時間を減らしたら成績も持ち直せる

スマホ等を使用しない、あるいは使用したとしても1時間未満にとどめることができている子どもたちの成績は、2年間で順調に伸びていたのです。反対に、スマホ等を1時間以上使用するようになってしまおうと、学力はどんどん下がってしまいました。この結果から、「スマホ等の使用時間が長くなる」と「学力が下がる」の間には明らかな因果関係があることがわかりました。

この結果は私たちにどうして、救いといえるデータとなるかもしれません。なぜなら、一度スマホ等を1時間以上使用するようになってしまったとしても、その後で何とかして使用時間を減らすことができたら、下がってしまった成績を持ち直させることもできる可能性があるからです。

■子どもだけでスマホを止め、使用時間を減らすのは困難



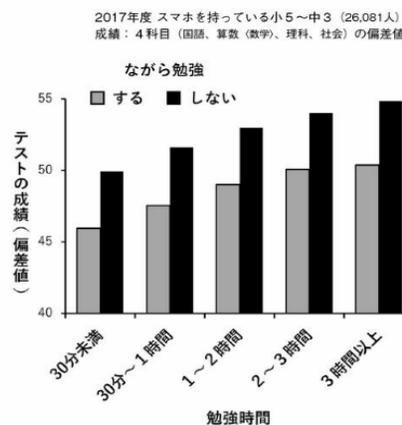
追跡調査の結果から、スマホを使えば学力は下がり、やめれば上がるという因果関係があることがはっきりとしました。この中に、私たちがこれから取り組むべき課題が潜んでいると考えています。実は、下段の線グラフでスマホ等の使用をやめられた子どもたち（黒色の実線）はたったの2.9%、1時間未満に減らせた子どもたち（濃い灰色の破線）もわずか10.1%しかいませんでした。

残りの大部分、87.0%の子どもたちはそのまま1時間以上使い続けていたのです。この結果からも、やはりスマホはタバコやお酒、ギャンブルと同じように、一度ハマってしまうとなかなか抜け出すことができない依存性があるといえるでしょう。スマホをやめれば成績が上がります。しかし、スマホの「沼」から自分の力で抜け出せる子どもたち

は現状で13%しかいません。そのため、いか

にして87%の子どものたちを減らし、13%の子どもたちを増やすか、これこそ

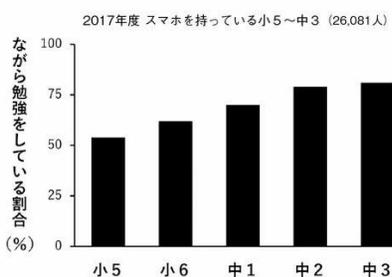
図表3 ながら勉強と学力の関係



■中学3年生の80%が「ながら勉強」をしている

【図表2】は、勉強中に勉強以外の目的でスマホ等を使用する、いわゆる「ながら勉強」をしている子どもたちの割合を表しています。スマホを持っている子どもたちを対象に解析したところ、なんと半数以上が「ながら勉強」をしていることがわかりました。小5の時点で53.9%、学年が上がるにつれて割合は上がっていき、中1で70.1%、中3になると80.7%が「ながら勉強」をしてしまっているのです。

図表2 勉強中に勉強以外の目的でスマホ等を使用する割合



出典：『スマホはどこまで脳を麻痺か』

勉強」のリスクは簡単に避けられました。しかし、スマホの場合は自分の部屋に持ち込むことができます。持ち込むところか、机の上に置いた状態で勉強をしている子どもたちすら多く存在します。勉強時間にかかわらず、「ながら勉強」をしない子どもたちよりも明らかに学力が低くなっていることがわかります。勉強時間「3時間以上」の子どもたちでさえ、偏差値が50.4とほぼ平均点までしか届いていません。

「ながら勉強」をせずに、「30分未満」勉強をしている子どもたちの成績とほとんど変わりません。つまり、スマホをいじりながらドラドラと3時間勉強をしたとしても、実質30分勉強をした程度の学習効果しか得られないというわけです。

■学校からのお願い

いよいよ夏休みになります。9年生にとっては、進路を左右するとても大切な39日間になります。自分自身で1日の24時間を管理することになります。悪気なく「ながら勉強」をしてしまっている子どもたちは、「毎日3時間も勉強を頑張っているのに、成績が全然上がらない……」と悩まなくていいように。努力が報われないことは、とてもつらいことです。子どもたちの努力を、学力という結果に結びつけてあげるために

あわせて、小野中4か条をしっかりと守りましょう。

中 小野中ネット・スマホ4か条

1. 夜10時には電源を切る
2. 一日の使用時間は1時間。
3. 危険なサイトを開いたり、アプリをとらない。
4. 人の悪口を書き込まない。

